学校番号	３１３

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	3	年次	2
使用教科書	古典Ｂ　改訂版　古文編　（大修館） 古典Ｂ　改訂版　漢文編　（大修館						
副教材等	新版三訂　カラー版新国語便覧　（第一学習社） key&point みるみる覚える古文単語 300＋敬語 30（いいずな書店） 重要な句法と語彙を学ぶ　精選漢文（尚文出版） 新版二訂　ニューエイジ　古典　必修２　（第一学習社） **新版二訂　ニューエイジ　古典　達成2＋**　（第一学習社） 読解を大切にする体型古典文法　八訂版　（数研出版） 古典文法　助動詞徹底ワーク　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・伝統的な言語・文化に対する関心を持ち、国語を尊重する精神と態度を養う。
・さまざまな文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思伝達のための「書く能力」をしっかりと身につける。
・言語感覚を磨くとともに、論理的な思考力、豊かな想像力を養成する。
・有名な古典（古文・漢文）の作品に親しむことで、豊かな感性と心情を理解する。
・古文・漢文の用法・文法・句法等に習熟し、計画的に定期考査・発展問題に取り組む。

2　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・古典を読むことに役立つ、基本的な知識を身につけている。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	伝統的な言語、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
4月	古文の説話・物語を読む	【古文】 『十訓抄』 「大江山いくのの道」 『宇治拾遺物語』 「検非違使忠明のこと」 文学史の知識・助動詞の確認 敬語の種類と用法の学習	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:作者の考え方を理解した上で文章の趣旨を的確に把握しようとしている。 e: 助動詞を中心に文語のきまりを習得している。文学史の知識について理解する。	a:行動の観察 d:記述の点検と確認 e:小テスト及び定期考査
5月	故事を読む	【漢文】 「漱石枕流」 「塞翁馬」 〈句法〉 再読文字の復習 否定の句形の復習	○			◎	○	a:漢文に親しみ、漢文特有の表現を味わい、理解しようとしている。 c:書き下し文が正確にできている。 d:故事の教訓が自分たちにとってどのように生かすことができるかを考察している。 e:漢文の句法を習得できている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の点検と確認 e:小テスト及び定期考査
6月	随筆・物語を読む	【古文】 『枕草子』 「大納言参りたまひて」 『徒然草』 「家居につきづきしく」 『伊勢物語』 「初冠」 〈文法〉 敬語の復習	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:物語中の人物に関心をもち、心情、情景をどのように描いているのかをとらえている。 e:古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている。	a:行動の観察 d:記述の点検と確認 e:小テスト及び定期考査
7月・8月	史伝を読む①	【漢文】 『史記』 「沛公　項王に見ゆ」 「樊噲目を瞋らして項王を視る」 〈句法〉 受け身形の復習 反語形の復習 疑問形の復習	○			◎	○	a: 漢文に描かれている人物の心情や情景を表現に即して読み取ろうとしている c: 「項羽」と「劉邦」の人物像の違いをまとめられているか d: 「項羽」と「劉邦」の人物像の違いと、歴史的な事実から、なぜそうなったのかについて考察を深めることができるか e: 漢文の句法と用法が習得できている	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の点検と確認 e:小テスト及び定期考査

学期	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
9月	史伝を読む②	【漢文】 『史記』 「四面皆楚歌す」 「我、何の面目ありて之に見えん」 〈句法〉 さまざまな反語表現 否定形の復習	○				◎	a:登場人物の特徴や歴史的な事実をふまえて、 漢文特有の表現を味わい、理解しようとしている。 b:漢詩を朗読し、内容だけでなく、当時の状況に思いを馳せて朗読する。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト及び定期考査
10月・11月・12月	歴史物語を読む	【古文】 『大鏡』 「雲林院の菩提講」 「道真左遷」 「花山院の出家」 『平家物語』 「能登殿最期」 〈文法〉 敬語の復習	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情や情景を表現に即して読み取ろうとしている。 d:摂関政治について理解し、物語の展開をとらえることができる。 e: 古文を読むことに役立つ、文語の決まりを身につけている	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と点検 e:小テスト及び定期考査
1月	漢文を読む	【漢文】 『文苑英華』 「桃花源記」 〈句法〉 限定形の復習 反語形の復習 疑問・感嘆形の復習	○			◎	○	a:物語の内容・構成展開を的確にとらえる d:物語中の人物に関心をもち、心情、情景をどのように描いているのかをとらえている。 e: 漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身につけている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と点検 e:小テスト及び定期考査
2・3月	物語・日記を味わう	【古文】 『更級日記』 「あこがれ」 「源氏の五十余巻」 『源氏物語』 「桐壺」 「若紫」 〈文法〉 総復習	○			◎	○	a:物語の内容・構成展開を的確にとらえる。 c:登場人物の特徴をまとめることができる。 d:作品の歴史的背景を学び人間や社会に対する思想や感情を理解して物語の叙情的な美しさに親しむ。 e:文語のきまりや助動詞の用法の習得及び敬語の種類と習得。	a:行動の観察 d:記述の確認と点検 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、全ての観点に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関係する観点には◎印を付けている。